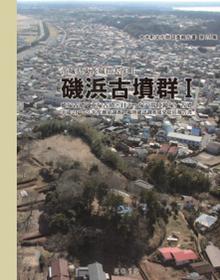




日下ヶ塚古墳 (常陸鏡塚) ひたち かがみづか

【ひさげづかこふん】イメージ

HISAGEZUKA KOFUN



『磯浜古墳群』の詳細は、報告書等をご覧ください

日下ヶ塚古墳データ
 墳長：約 101.4m
 高さ：10.1m
 周濠を含む総長：約 128.2m
 前方後円墳
 築造時期：古墳時代前期末葉

この形はヤマト王権との結びつきを物語る



全長 約207m

日下ヶ塚古墳の約2倍の大きさ

日下ヶ塚古墳の墳形は、佐紀陵山古墳 (奈良県) に似ている

日下ヶ塚 (常陸鏡塚) 古墳の発掘



大場磐雄博士 (写真提供：國學院大學博物館)

日下ヶ塚古墳の発掘は、1949 (昭和 24) 年 8 月、國學院大學の大場磐雄博士によって行われました。粘土槨からは石製製造品や槨、鉄製品や勾玉、白玉、ガラス玉、内行花文鏡、変形四獣鏡など 4000 点をこす副葬品が発見されました。調査の内容は「常陸鏡塚」として刊行されています。出土品は國學院大學博物館と大洗町などで保管されています。

※「常陸鏡塚」は大場博士が命名した名前です。



日下ヶ塚古墳の埴輪

長壺形埴輪 この他に円筒埴輪や球形胴壺形埴輪もあります。